

# I INTRODUCTION .....

## なぜユーザビリティなのか？

ユーザー中心の設計思想

ユーザーの視点

ユーザビリティとは

デザイン性とユーザビリティ

ユーザー中心の設計思想

ウェブというメディアにおけるユーザビリティの必要性

## ウェブ・ユーザビリティの背景と展望

急速に発展するメディアを支えるユーザビリティ

ユーザビリティの浸透

ユーザー・インターフェイスの進化

ハイパーテキスト、ハイパーメディアの実現

専門スキルのオープン化

## アイデンティティ——サイトとその運営者の表現

- STANDARD 001 ホームを見て、サイトの主な内容が分かるようにする
- STANDARD 002 ホームは、そこがサイトの入り口であるように見せる
- STANDARD 003 ホームでは、重要度の高いタスクを強調する
- STANDARD 004 運営者とサイトの関係を明確にする
- STANDARD 005 運営者の概要を紹介するセクションを、分かりやすく用意する
- STANDARD 006 すべてのページに一貫したサイトIDを表示する
- STANDARD 007 サイト全体とサブサイトとの関係を明確にする
- STANDARD 008 ページのデザインは、サイト全体で統一感のあるものにする
- STANDARD 009 複数のブランド名などを混在させない
- STANDARD 010 運営者にすぐにコンタクトできるようにする
- STANDARD 011 コンタクトの目的を限定しない
- STANDARD 012 コンタクト手段を複数用意する
- STANDARD 013 各種ポリシーを明確にする
- STANDARD 014 すぐに各種ポリシーを参照できるようにする
- STANDARD 015 利用条件として、ユーザーの自由な利用方法を一方的に制限しない

## インフォメーションアーキテクチャ——静的な構造と分かりやすさ

- STANDARD 016 分かりやすい分類基準を用いて、主要カテゴリを分類する
- STANDARD 017 複数のカテゴリに同じコンテンツを置かない
- STANDARD 018 情報の深さ・幅・量のバランスをとる
- STANDARD 019 URLがサイト構成理解の助けになるようにする
- STANDARD 020 ウィンドウタイトルで内容を適切に表現する
- STANDARD 021 ラベルを読んで、リンク先の内容や動作を推測できるようにする
- STANDARD 022 ひとつの機能やコンテンツに対して、常に同じ名称を用いる
- STANDARD 023 サイト内の共通要素は、どのページでも同じ場所にレイアウトする
- STANDARD 024 無駄な余白や要素の詰め込みすぎを避ける
  
- STANDARD 025 重要な情報は、画面の上部に目立つように配置する
- STANDARD 026 1ページ内で、関係の深い情報や機能を視覚的にまとめる
- STANDARD 027 1ページのコンテンツは、ひとまとまりの情報で切り分ける
- STANDARD 028 装飾のための画像を過度に使用しない
- STANDARD 029 情報を蓄積して、過去のコンテンツも閲覧できるようにする
- STANDARD 030 総合的なヘルプページを用意する
- STANDARD 031 サイト全体の情報構造を視覚化したサイトマップを用意する
- STANDARD 032 商品名などをインデックス化したページを用意する
- STANDARD 033 シンプルな検索機能を、すべてのページに分かりやすく配置する

## インタラクション——動的な構造と使いやすさ

- STANDARD 034 ページの読み込み時間を、できるだけ短くする
- STANDARD 035 ホームへのリンクを、すべてのページに分かりやすく用意する
- STANDARD 036 サイト全体と閲覧中のページとの関係が分かるようにする
- STANDARD 037 いつでも閲覧中のページの上位階層に移動できるようにする
- STANDARD 038 ひとつの対象トピック内では、ページを並列移動できるようにする
- STANDARD 039 閲覧中のページから関連項目などを参照できるリンクを用意する
- STANDARD 040 ユーザーの行動を意識したリンクの導線を設ける
- STANDARD 041 重要なリンクに、スプリング式のコントロールを使用しない
- STANDARD 042 テキストリンクは「未訪問」と「訪問済み」が分かるようにする
- STANDARD 043 画像リンクは、クリックできそうに見えるデザインにする
- STANDARD 044 現在の状況において意味のないリンクは排除する
- STANDARD 045 アイコンは、文字ラベルとともに分かりやすくデザインする
- STANDARD 046 リンクのそばに補足説明を併記する
- STANDARD 047 メニューは、視覚的にコンテンツと区別できるようにする
- STANDARD 048 複数のメニューがある場合には、それぞれの役割を明確にする
- STANDARD 049 メニュー項目の数を、ユーザーが一度に把握できる範囲におさめる
- STANDARD 050 リンクラベルには、文脈に依存した表現を用いない
- STANDARD 051 視覚的に同じ特徴を持った要素は、同種の反応を示すようにする
- STANDARD 052 リンクは、ユーザーが予測できる反応を示す
- STANDARD 053 リンク先がHTMLでない場合には、事前に分かるようにする
  
- STANDARD 054 フォームの要素は、項目数、グリッド、順序を考慮する
- STANDARD 055 フォームでは、一度入力した内容や回答できない質問をしない
- STANDARD 056 システム側で対処できる入力補完を、ユーザーまかせにしない
- STANDARD 057 高度な機能は、ユーザーが意識的にそれを呼び出すようにする
- STANDARD 058 エラー時には、分かりやすい状況説明と建設的な指示を提示する
- STANDARD 059 精細なマウス操作や限定時間内での操作を要求しない

## アクセシビリティ — さまざまな環境への配慮

- STANDARD 060 ユーザーエージェントのための情報を適切に記述する
- STANDARD 061 文書構造を無視した表示位置の絶対指定は避ける
- STANDARD 062 文字情報は、できるだけサイズ固定や画像化しない
- STANDARD 063 文字色と背景色のコントラストを十分にもたせる
- STANDARD 064 HTML文書で、情報の論理構造を適切にマークアップする
- STANDARD 065 色の識別がつかなくても、情報を理解できるようにする
- STANDARD 066 特定の単語内にスペースや改行を入れない
- STANDARD 067 情報の識別に必要な記号や文字装飾タグを、単独で使わない
- STANDARD 068 機種依存文字、半角カタカナを使用しない
- STANDARD 069 画像には、同じ役割を果たす代替テキストを提供する
- STANDARD 070 データテーブルでは見出しを識別し、データセルと関連付ける
- STANDARD 071 レイアウトテーブルは、正しい順序で音声読み上げされるようにする
- STANDARD 072 フォームのラベルとコントロールを関連付ける
- STANDARD 073 フレームの使用は最小限とし、使う際は必ずタイトルをつける
- STANDARD 074 ナビゲーションの繰り返しをスキップできるようにする
- STANDARD 075 イメージマップは、クライアントサイドを使用する
- STANDARD 076 スクリプト、アプレット、プラグインには代替手段を提供する
- STANDARD 077 どうしてもアクセシブルにできない場合は、代替ページを提供する
- STANDARD 078 画面全体の明滅やコンテンツの点滅、移動は避ける
- STANDARD 079 動画で視覚的にしか伝えていない情報には、代替手段を提供する
- STANDARD 080 音声だけで伝えている情報には、代替手段を提供する
- STANDARD 081 モバイル、子供、外国人などに配慮したコンテンツを提供する

## コンテンツ — 表現の最適化

- STANDARD 082 画像は、対象物の特徴や意味が伝わるようにする
- STANDARD 083 ダイアグラムなど、情報の視覚表現を積極的に行う
- STANDARD 084 インタラクティブ性は、ユーザーのタスク支援を目的とする
- STANDARD 085 自動的に再生されるスプラッシュムービーやBGMは控える
- STANDARD 086 頻繁な更新によって、常に最新の情報を提供する
- STANDARD 087 コミュニティづくりを意識したコンテンツを用意する
- STANDARD 088 運営者の活動を積極的に知らせるコンテンツを用意する
- STANDARD 089 逆ピラミッド型の文章構成でページを編集する
- STANDARD 090 専門用語や外国語を使用せずに、分かりやすい言葉を使う
- STANDARD 091 宣伝目的の誇張された表現よりも、客観的で説明調の表現を用いる
- STANDARD 092 誤字、脱字、表記の不統一をなくす
- STANDARD 093 テキストのスタイルをシンプルに保つ
- STANDARD 094 コンテンツのカスタマイズなどで、ユーザーとの関係を強化する
- STANDARD 095 目的達成に不可欠な情報は、早い段階で提示する
- STANDARD 096 外部サイトへのリンクを、効果的に利用する
- STANDARD 097 故意にユーザーの予測を裏切るようなリンクを置かない
- STANDARD 098 広告ではないのに広告のように見えるリンクのデザインは避ける
- STANDARD 099 リンク切れや工事中のページをなくす
- STANDARD 100 美しいグラフィックや文章で、サイトの品位と信頼性を高める

# プロセス編

ユーザビリティ・エンジニアリングの4つのフェイズ…

プロセス編について

定義フェイズを読む前に

## 定義フェイズ

サイトの目的

- ・なぜそのサイトを作るのか
- ・目的を設定する

ターゲットと要求

- ・ターゲットとする顧客層
- ・ユーザー要求の調査

コンテンツと技術

- ・コンテンツタイプの検討
- ・技術的な要件の把握

ブランドとデザイン

- ・サイトのブランドとデザイン
- ・既存のブランドとサイトブランドの関係
- ・サイトブランドの明確化

エクスペリエンス

- ・ユーザーの利用体験
- ・ユーザーの要求
- ・運営者の要求

構造フェイズを読む前に

## 構造フェイズ

コンテンツリストとタスクリスト

- ・コンテンツリストの作成
- ・タスクリストの作成

ソーティング

- ・コンテンツの分類
- ・タスクリストの分類

フローチャート

- ・フローチャートの作成

サイトの基本構成

- ・タスクとコンテンツの対応付け
- ・ラベリング

ナビゲーションスキームと基本UI

- ・ナビゲーションスキームの考え方
- ・ナビゲーションの種類